

『流星の絆』 東野圭吾 講談社

ある日、主人公・梶原健太郎は美術部の後輩・中島蓮と出会い、蓮の絵に感銘をうけ、やがて二人は友人となり共に糸会を描くことで楽しむように。

そんなある日、蓮が突然姿を消してしまい、蓮の姉・蓮子と共に蓮の行方を捜します。そんな中、健太郎は蓮の絵にかかれていた流星の絵を見て、あることに気付きます。

事件の真相とはいいたい。そして、蓮の絵が伝えたかったこととは、友情や家族の絆をテーマにした一冊です。

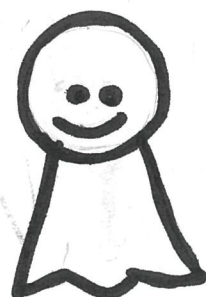
S2-A Y・K、M・F



6月号



高2



～余命10年～

作：小坂流加，文艺社 出版

20歳で不治の病にかかり、恋をしないと決心した余命10年の茉莉と自分の居場所がなくなり生きる希望を失った和人が同窓会で再会した。どんどん惹かれあっていく二人が選んだ最後の道とは……

S2-D H & S



脱 スマホ脳かんたんマニュアル

アンデリュ・ハンセン・作 新潮社・出版
マッツ・ヴェンブロード

集中力が続かない。時間の使い方がヘタ。いつも寝不足。原因は、もしかしたらスマホにあるのかもしれない…。スマホを使っているとき、脳には一体何が起きている？ SNSを使いすぎると幸福度が下がる？ など、知っておけば安心、スマホとかしこく付き合うための本。

2-B M.I, O.I



ツナグ

辻村深月(新潮大)

一生に一度だけ「ツナグ」が死者との再会を叶えてくれるというお話です。突然死したアイドルに会いたりのOL、ある日突然消えてしまった婚約者を待ち続ける会社員など、様々な思いを抱えた人々が登場します。あなたは、死者に一度だけ会えるとしたら会いますか？——また、誰に会いますか？——

2-C T・Y, H・R

ビブリア古書堂の

事件手帖

KADOKAWA

著：三上延

＜ストーリー＞

古書店で働く葉子は、極度の人見知り。だが、人並み外れた観察眼と洞察力を持つ。古書にまつわるミステリーな事件が、彼女が読んだ古書とつながり、五浦と謎にたどっていく。



92-E T.R

78回生